

記入例

別記様式第2号（第4条関係）

（表面）

※この申請書は、児童生徒1人につき1枚作成してください。

大泉町就学援助費受給申請書（新入学準備費用）

大泉町教育委員会 様						
就学援助費（新入学準備費）を受給したいので、必要書類を添えて申請します。						
令和5年 1月15日						
住所	大泉町 日の出55番1号 大泉ハイツ201号					(第24区)
申請(保護)者	大泉太郎					電話(連絡先) 0276 - 63 - 3111
世帯状況	(フリガナ) 氏名	世帯主との続柄	生年月日	現在の年齢	職業又は学校名 学年組	総額
	1 オオイズミ タロウ 大泉太郎	世帯主	昭和51年6月6日	45	無職	0円
	2 オオイズミ ハナコ 大泉花子	妻	昭和56年7月7日	40	〇〇〇製作所 パート	1,800,000円
	3 オオイズミ イチロウ 大泉一郎	長男	平成18年8月8日	15	〇中学校3年	0円
	4 オオイズミ ジロウ 大泉次郎	次男	平成27年10月1日	6	〇幼稚園 年長 新1年生	0円
	5					円
	6					円
前年の受給の有無 <input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無		住宅の状況	1 持家 2 <input checked="" type="radio"/> 借家 (家賃 月額 35,000円)		合計	1,800,000円
(2) 援助をうけたい理由 ① 生活保護 ② 生活保護の停止又は廃止 ③ 個人事業税の減免 ④ 町民税の非課税又は減免 ⑤ 固定資産税の減免 ⑥ 国民年金保険料の減免 ⑦ 国民健康保険税の減免 ⑧ 児童扶養手当の支給 ⑨ 生活福祉資金の貸付 ⑩ その他(裏面に具体的に理由を記入してください)						
(3) 同意書及び委任状 (本人が署名するか、記名押印してください) ① 令和4年度就学援助費受給資格認定のため、添付資料が不十分のときは、同一世帯全員の令和4年度町・県民税課税台帳記載内容のうち収入額についての情報を利用することに同意します。 同意者 大泉太郎 大泉花子						
(4) 振込口座						
金融機関名	銀行 信金 信組 労金 農協	支店名	支店 支所 出張所	預金種類	普通	
口座番号(右詰で記入)		口座名義(カタカナ)				

※現在の学校・学年・組を記入してください。

※収入のある人すべてについて、本人が署名、または記名・押印してください。

※口座名義は銀行に届けた名義のとおり記入してください。

※(2)援助を受けたい理由欄は、現在受けている措置があるものに○をつけるとともに、裏面下段にある書類の写しを必ず添付してください。
「⑩その他」に○をつけた場合、裏面上段の記入欄に、できるだけ詳しく理由を書き、該当する方は裏面下段にある書類の写しを添付してください。

(裏面)

申請書表面の(2) ⑩の援助を受けたい理由の記入欄

「就学援助費を受けたい具体的な理由」

申請書表面(2)の理由⑩に該当する方は、現在の収入状況や生活状況、援助を受けたい理由を具体的に詳しく記入してください。記入内容を元に審査をします。
また、下の表の⑩必要書類の添付が必要です。
ただし、令和4年1月1日大泉町に住所のある人は不要です。

各項目ごとに必要書類の写しを必ず添付してください。
ただし、各項目にある所得課税証明書については、令和4年1月1日大泉町に住所のある人は不要です。
住所のない人は、1月1日時点の住所地で証明書を取得してください。

添付書類

該当項目に○をし、必要書類の写しを添付してください。

項 目	必 要 書 類
① 生活保護	保護決定(変更)証明書
② 生活保護の停止又は廃止	保護廃止(停止)決定通知書
③ 個人事業税の減免	事業税減免承認(不承認)証明書
④ 町民税の非課税又は減免	所得課税証明書
⑤ 固定資産税の減免	固定資産税納税証明書
⑥ 国民年金保険料の減免	国民年金保険料免除承認通知書
⑦ 国民健康保険税の減免	所得課税証明書
⑧ 児童扶養手当の支給	児童扶養手当証書
⑨ 生活福祉資金の貸付	生活福祉資金貸付証明書
⑩ その他	世帯全員のうち、全ての所得者の所得課税証明書、源泉徴収票又は確定申告書等

⑤⑦に該当する方は、減免承認通知書等の減免が決定されていることがわかる書類の写しも添付してください。